

平成20年10月30日

各 位

上場会社名 ジーエルサイエンス株式会社  
 代表者 取締役社長 森 憲司  
 (コード番号 7705)  
 問合せ先責任者 取締役管理本部長 高橋 良彰  
 (TEL 03-5323-6633)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(単位:百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,535	569	611	153	27.40
今回発表予想(B)	8,695	231	237	△62	△11.39
増減額(B-A)	△839	△337	△373	△216	——
増減率(%)	△8.8	△59.4	△61.1	—	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	8,773	362	362	357	64.00

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	—	—	—	—	—
増減額(B-A)	—	—	—	—	——
増減率(%)	—	—	—	—	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	—	—	—	—	—

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,889	408	472	281	50.38
今回発表予想(B)	6,292	217	311	197	35.84
増減額(B-A)	△596	△190	△161	△84	——
増減率(%)	△8.7	△46.7	△34.1	△29.8	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	6,302	304	366	381	68.29

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	—	—	—	—	—
増減額(B-A)	—	—	—	—	——
増減率(%)	—	—	—	—	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	—	—	—	—	—

## 修正の理由

修正理由につきましては、個別・連結の順で記載しております。

### (1) 平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正について

分析機器事業では、経済環境の悪化に伴うユーザー行動の変化等もあり、売上高は前回予想を下回る見込みです。また自動認識事業でも、改正建築基準法の影響による不動産関連業界の不振等もあって、売上高は低迷いたしました。

上記の売上高見込みに伴い、営業利益、経常利益、四半期純利益とも前回予想比大幅に減少する見込みとなりました。

### (2) 平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正について

上記事情に加え、当社子会社テクノクオーツ株式会社も、半導体業界におけるメモリーの供給過剰や急速な世界景気減速による需要後退から、売上高は前回予想を下回る見込みです。

またテクノクオーツ株式会社の利益につきましても、売上高が前回予想比未達となるほか、資源・材料高に伴う製造コストの上昇に加え競争激化による販売価格の下落等もあって採算性が悪化したため、各利益とも前回予想比大幅な減少を見込んでおります。

以上を勘案し、連結の業績予想数値を修正いたしました。

なお、通期業績予想数値につきましては、現在見直し中であり、今後の経済情勢、市場動向等を検討の上、第2四半期決算発表時(平成20年11月7日予定)に公表させていただきます。

(注) 上記業績予想数値は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によってこれらの予想数値と異なる可能性があります。

以 上